

【評価】S(簡単にできる)・A(ほぼ自力でできる)・B(支援があれば何とかできる)・C(あまりできない)・D(全くできない)

CAN-DO LIST 2年次		評価
Listening	繰り返し使われれば、教室で使われる英語や教師による授業中の英語での簡単な指示(Stand up. Sit down. Come here. Be quiet. Answer in English / Japanese.など)を聞き取り、理解して行動することができる。	
	ゆっくり、または繰り返して話されれば、教師による授業内容に関する英語の質問(Yes/No Questions等)を聞いて理解し、英語で返答することができる。	
	ゆっくり、または繰り返して話されれば、興味・関心のある話題に関する話題に関する話を英語で聞いて、その内容を理解することができる。(趣味に関すること、好きな音楽やスポーツなど)	
	よく使われる表現がゆっくりはっきりと話されれば、英単語がつながって発音されてもその意味を理解することができる。	
Reading	興味・関心のある話題に関する簡単な英文(100語程度)を理解することができる。	
	英語で書かれた簡単な読み物(日本語の注や説明がついているもの)を理解することができる。(外国語学習者向けの読み物など)	
	英語で書かれた簡単な地図、ポスターや広告(インターネット上の広告、新聞広告も含む)などを見て何について書かれているか理解し、必要な情報を得ることができる。	
	教科書の本文を英語の音声的な特徴(リズムやイントネーション等)、話す速度や声の大きさ等に気を付けて、はっきりと相手に伝わるよう音読することができる。	
Speaking (Interaction)	準備をすれば、自分の好きなこと(趣味など)や身近なこと(家族、友人、ペット、学校生活、食べ物、スポーツなど)に関して英語で短い話をするすることができる。	
	自分自身に関する簡単な質問(What is your favorite color? What did you do yesterday?等)に英単語(Red. Shopping.など)で答えることができ、間違いを恐れず積極的に相手に簡単な質問を英語で行うことができる。	
	教科書の対話文や例文等(各2~3文程度)決まった定型文を暗記し、それらを活用して短いやり取りをすることができる。	
	準備をすれば、身近なことで相手を誘ったり、簡単な頼みごとをすることができる。(Let's go shopping this weekend. Can you close the door, please?など)	
Speaking (Production)	準備をし、メモの助けがあれば簡単な挨拶、身近な話題(住んでいる所や家族、学校生活についてなど)を40語程度の英語で発表することができる。	
	準備をし、メモの助けがあれば、自分の大切な物について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを簡単な英単語、基本的な表現を用いて発表することができる。	
	準備をし、メモの助けがあれば、長期休業中の予定について簡単な英文を使って発表をすることができる。また、発表者に対して簡単な質問を英語ですることができる。	
	準備をし、メモの助けがあれば、物事の「好き」「嫌い」(食べ物・スポーツなど)とその理由などに関して簡単な英単語や英文を使って30秒~40秒程度で発表することができる。	
Writing	身近なことであれば、30語程度の英語で名前や住んでいるところ、家族や学校生活などについて簡単な自己紹介文を書くことができる。	
	短い日記を英語で書くことができる。(1文から3文程度)	
	物事の「好き」「嫌い」とその理由を25~30語程度の英語で書くことができる。(食べ物、スポーツ、音楽など)	
	辞書などを用いれば、自分の将来の夢や希望、自らの体験や経験について25語~30語程度の英文で書くことができる。	